

平成 30 年 11 月 21 日

各 位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1
オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 山本 和男
(コード番号 4564 東証マザーズ)
(問い合わせ先) 管理本部 高瀬 由美子
電話番号 044-820-8251

代表取締役の異動、取締役候補者の選任

ならびに臨時株主総会招集のための基準日設定及び臨時株主総会招集に関するお知らせ

当社は、取締役会の決議にかわる平成30年11月21日付の書面決議によって、代表取締役の異動、取締役候補者の選任ならびに臨時株主総会に付議する取締役候補者、招集に関する基準日等について、下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 代表取締役異動の理由

平成 30 年 11 月 21 日、一身上の都合により山本和男氏から平成 30 年 11 月 30 日付辞任届が提出されたため。

2. 代表取締役の異動

氏名 (ふりがな)	新役職名	旧役職名	異動年月日	所有株式数
山本 和男 (やまもと かずお)	—	代表取締役社長	平成30年11月30日	2,500株
鄭 秀蓮 (ちよん すよん)	代表取締役社長	取締役 臨床開発部長	平成30年11月30日	—
鄭 秀蓮 (ちよん すよん)	取締役 臨床開発部長	代表取締役社長	平成31年1月23日 (注1)	—
藤谷 京子 (ふじや きょうこ)	代表取締役社長 (注3)	執行役員 事業統括部長 (注3)	平成31年1月23日 (注2)	—

(注1) 平成 31 年 1 月 23 日開催予定の臨時株主総会後に開催される取締役会において正式に決定される予定です。

(注2) 平成 31 年 1 月 23 日開催予定の臨時株主総会及びその後の取締役会において正式に決定される予定です。

(注3) 当社連結子会社である株式会社 Cancer Precision Medicine 代表取締役社長を兼務しております。

(注4) 山本和男氏は、平成 30 年 11 月 30 日付で取締役を辞任いたします。なお、当該取締役辞任後も法令および定款で定められている取締役の員数はみたくしております。

3. 新代表取締役社長（平成30年11月30日就任、平成31年1月23日退任予定）の略歴

氏 名 鄭 秀蓮（ちよん すよん）

生年月日 昭和 58 年 1 月 25 日

学 歴	平成 23 年 3 月	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 博士課程修了 博士（生命科学）
職 歴	平成 23 年 4 月	東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター特任研究員
	平成 24 年 4 月	シカゴ大学医学部特任研究員
	平成 26 年 3 月	国立がん研究センター研究所研究員
	平成 27 年 4 月	当社入社研究開発企画担当
	平成 28 年 11 月	当社臨床開発部部长代行
	平成 28 年 11 月	当社免染グループグループリーダー代行
	平成 29 年 5 月	当社執行役員臨床開発部部长就任
	平成 30 年 6 月	当社取締役兼臨床開発部部长兼研究開発企画担当就任（現任）

4. 新代表取締役社長、新任取締役候補者（平成31年1月23日就任予定）の略歴

氏 名 藤谷 京子（ふじや きょうこ）

生年月日 昭和 40 年 11 月 22 日

学 歴	昭和 61 年 3 月	パンパシフィックインスティテューツ（現 渋谷外国語専門学校）英文秘書科 卒業
	平成 15 年 9 月	産業能率大学 経営情報学部 経営情報学科 卒業
職 歴	昭和 61 年 4 月	日本ボブスト株式会社 入社
	平成 2 年 5 月	GE横河メディカルシステム株式会社（現GEヘルスケア・ジャパン株式会社）入社
	平成 8 年 6 月	同社 ソーシング本部バイヤー
	平成 16 年 4 月	同社 OTR (Order To Remittance) 本部長 就任
	平成 21 年 4 月	同社 アジア・パシフィックOTR担当 ゼネラル・マネージャー就任
	平成 25 年 8 月	同社 アジア・パシフィックOTR担当 ゼネラル・マネージャー兼 アジア・パシフィックビジネスオペレーション ゼネラル・マネージャー就任
	平成 25 年 10 月	同社 執行役員サービス本部長 就任
	平成 30 年 8 月	株式会社Cancer Precision Medicine入社
	平成 30 年 8 月	同社取締役就任（現任）
	平成 30 年 8 月	同社代表取締役就任（現任）
	平成 30 年 10 月	当社執行役員 事業統括部部长就任（現任）

5. 臨時株主総会に関する基準日について

平成 31 年 1 月 23 日に開催予定の当社株主総会において、議決権を行使することができる株主を確定するため、平成 30 年 12 月 10 日（月）を基準日として定め、同日最終の株主名簿に記録された株主をもって、その議決権を行使できる株主といたします。

- (1) 公告日 : 平成 30 年 11 月 22 日
- (2) 基準日 : 平成 30 年 12 月 10 日
- (3) 公告方法 : 電子公告（下記の当社ホームページに掲載いたします）

<https://www.oncotherapy.co.jp/ir/announce>

6. 臨時株主総会開催日時等

- (1) 開催日時： 平成 31 年 1 月 23 日（水） 午前 10 時 00 分
- (2) 開催場所： 東京都渋谷区神宮前 1-13-14
原宿クエストホール（原宿クエスト 3F）

7. 臨時株主総会付議議案

(1) 決議事項

議案 取締役 1 名選任の件

当社経営体制を強化し、より一層の事業拡大・加速を企図して、取締役 1 名の選任をお願いするものであります。

なお、選任された取締役の任期は、当社定款の定めにより、選任後 2 年以内に終了する事業年度の内、最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとなります。

(2) 取締役候補者

氏名	新任・再任 の区分	現在の役職等
藤谷 京子	新任	執行役員 事業統括部長

(3) 新任取締役候補者の略歴

藤谷 京子（ふじや きょうこ）

生年月日 昭和 40 年 11 月 22 日

略歴 上記 4 記載のとおり

なお、同氏が代表取締役ならびに取締役に就任しております株式会社 Cancer Precision Medicine は当社連結子会社であります。その他、同氏と当社との間には、特別の利害関係はありません。

8. 今後の見通し

当社グループは、元東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター長（現 公益財団法人がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター所長、東京大学名誉教授、シカゴ大学名誉教授）中村祐輔教授と共同で、ほぼ全てのがんと対象とした網羅的な遺伝子発現解析等を実施し、既にかん治療薬開発に適した多くの標的分子を同定しております。また、それらの標的に対し、低分子医薬、がんペプチドワクチン、抗体医薬等の、各領

域における創薬研究を積極的に展開するとともに、MELK を標的とした OTS167 の米国での臨床試験、当社が開発支援を行い塩野義製薬株式会社が実施している S-588410 の食道がんに対する第Ⅲ相臨床試験、がん治療用抗体医薬 OTSA101 の企業主導の臨床試験準備等々、これら創薬研究の成果を基にした複数の臨床試験を実施しており、臨床試験準備中の医薬品候補物質も複数有しております。

このような、「医薬品の研究及び開発」並びにこれらに関連する事業に加えて、がんプレジジョン医療関連事業を実施しております。

がんは遺伝子の異常により引き起こされる病気です。がん細胞での遺伝子の網羅的な解析は、がんの診断及びがん治療薬・治療法を選択するために非常に重要です。この解析を利用して、がんの早期診断や、がん患者さん一人ひとりの遺伝子情報に基づいた治療薬・治療法を選択することや新規の免疫療法につなげていくことをがんプレジジョン医療といい、近年、より効果的ながん治療をがん患者さんに提供できる手段として注目されています。当社は、グローバルなゲノム・トランスクリプトム・エピゲノム等の次世代シーケンス解析サービスを行っている Theragen Etex Co., Ltd. (本社:韓国、CEO: Tae Soon (Samuel) Hwang) との資本・業務提携により、がん遺伝子の大規模解析検査及びがん免疫療法の研究開発を行う子会社として、株式会社 Cancer Precision Medicine (以下、「CPM 社」) を設立し、また、当社の事業部門であり、オンコアンチゲンははじめとしたがん免疫療法の研究開発及び T/B 細胞受容体 (TCR/BCR) レパトア解析サービスを行っている腫瘍免疫解析部の事業について、会社分割 (簡易分割) をし、CPM 社に事業を承継させました。

CPM 社は、日本におけるがんプレジジョン医療を加速させるため、DC ワクチンコンソーシアムとの樹状細胞療法による治療法の共同研究、IMS グループをはじめ Thermo Fisher Scientific、公益財団法人がん研究会、セコム医療システム株式会社及び医療法人社団あんしん会四谷メディカルキューブとのリキッドバイオブシーに関する各共同研究の実施に加えて、全エクソーム解析、RNA シーケンス解析、ネオアンチゲン解析、リキッドバイオブシーといったがん遺伝子の大規模解析検査並びに TCR/BCR レパトア解析及び免疫モニタリングを提供しております。さらに、CPM 社は、ネオアンチゲン樹状細胞療法及び TCR 遺伝子導入 T 細胞療法などの新しい個別化がん免疫療法の研究も行っております。

このように、当社グループは、「有効性が高く、より副作用の少ないがん治療薬・治療法を一日も早くがんを苦しむ患者さんに届けること、がんとの闘いに勝つこと」を企業使命とし、新たな経営体制の下、事業推進のスピードを上げ、「医薬品の研究及び開発」と「がんプレジジョン医療関連事業」をより一層拡大・進展させ、企業価値を向上させるべく邁進してまいります。

以 上